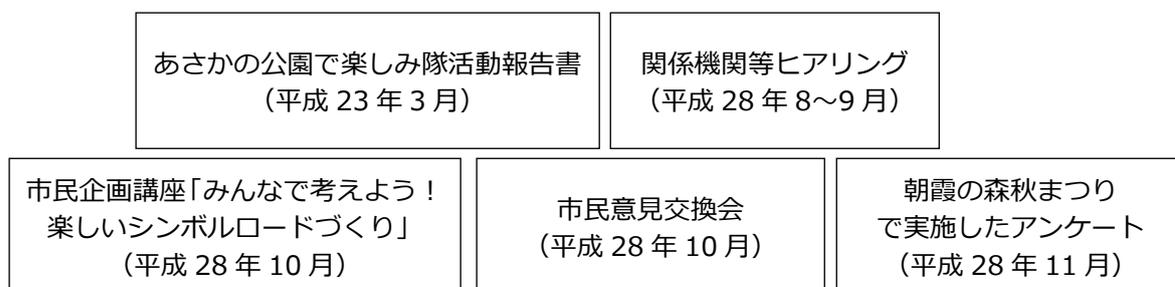


市民・関係機関からの提案の反映について

○様々な機会を通じて収集した、基地跡地公園・シンボルロードの整備・利活用に対する提案を、以下の考え方に沿って整理した。



基地跡地公園・シンボルロード全体の整備・利活用

に向けた提案

特にシンボルロード（東園路までの範囲を含む）で

実現を目指す提案

- ①シンボルロードの空間特性（延長約 650m の連続性のある空間）、先行整備の趣旨（オリンピック会場へのアクセスルートの一つとしての整備）に適うもの
- ②近隣の公共施設（中央公民館、図書館、総合体育館、朝霞中央公園）と連携することで、より効果的な実施が見込まれるもの
- ③朝霞駅側の市街地に近く、人が集まりやすい立地特性を活かすことができるもの

基地跡地公園・シンボルロード全体の整備・利活用に向けた市民・関係機関からの提案

■ 市民協働

○◇朝霞の森方式を参考にした市民中心の維持管理

■ 休息

○ひと休みできるベンチ ◇休憩場所

■ 散策

○車椅子、ベビーカーが通れる散策路 ○チップを使った道

■ 米軍基地時代の歴史の継承

○遺物・遺構（電柱、給水塔、消火栓等）の保存
○モニュメントの設置

■ 森に親しむ・森を育てる場や機会の創出

○森に親しむ（散策する、木陰で休む、森林浴、ハンモック、ツリーハウス、ツリークライミング、ボルダリング）
○自然とふれあう（四季の花を楽しむ、虫とふれあう、自然体験、自然観察、樹名板、ススキを鑑賞できる草地の保全）
○自然（雑木林等）、樹木の保全 ○多様な生き物がすめる森づくり
○市民協働による草花、森の育成 ○キャンプ、泊まれる公園
◇日没後の時間帯に行う星空上映会や移動式プラネタリウム

■ 遊びの場の創出

○遊具、広場
乳幼児の遊び場、ボール遊び、アスレチック、ブランコ、すべり台、自然のジャングルジム、トランポリン
○プレーパーク ○子どもが生きる力を身につけられる場（森の幼稚園等）
○探検（虫取りなど） ○小動物とふれあえる場所
○スケボー、ストリートバスケット

■ 開放的な空間を活かしたレクリエーションの場の創出

○芝生の広場 ○ドッグラン ○バーベキュー

■ 水場・水辺の創出

○プール ○じゃぶじゃぶ池 ○せせらぎ ○池

■ にぎわい創出（大規模イベント、施設整備）

◇コンサート、フェス等の音楽系イベント
○おしゃれなカフェ、くつろげるカフェ
○農産物直売所 ○古い鉄道車両を再利用した図書館
○ラジオの公開収録や生放送ができる施設 ○野外音楽堂

■ 利用しやすさを高める施設整備

○◇トイレ ◇水道設備 ○授乳、オムツ交換のできる施設
◇夏季に日差しをしのげる場所 ◇管理棟、ビジターセンター
○一定規模の駐車場 ◇公園案内板 ◇無電柱化

■ 防災機能の確保

○◇備蓄倉庫 ◇かまどベンチ ◇水利施設（消火栓、防火水槽）、非常用電源
◇支援にきた消防隊員等のトイレ、休憩に利用できるスペース
◇帰宅困難者の一時待避への対応

特にシンボルロード（東園路までの範囲を含む）で実現を目指す提案

①シンボルロードの空間特性（延長約 650m の連続性のある空間）、先行整備の趣旨（オリンピック会場へのアクセスルートの一つとしての整備）に適うもの

■ 移動、散策

◇自転車通行帯 ◇歩道
◇レンタサイクル ○サイクリング

■ 東京オリンピック・パラリンピック関連

○パブリックビューイング

②近隣の公共施設（市役所、中央公民館、図書館、総合体育館、朝霞中央公園）と連携することで、より効果的な実施が見込まれるもの

■ 図書館との連携

○緑陰で読書
○青空図書館、移動図書館

■ 彩夏祭時の活用

◇よさこい出場団体の受付・待機所・給水所
◇よさこい観覧スペース
◇踊りの空間（ステージが設置可能な広場）
◇出展ブース用スペース（商工まつり、青年部出展の一体化等）
◇飲食・休憩スペース
◇仮設トイレ・喫煙所・リサイクルステーション
◇地方車の迂回路の確保
◇花火の際に立入禁止区域を管理しやすい構造の確保

■ 各施設で行われている既存イベントや日常利用との連携

◇農業祭
○サークル活動で利用できるスペース
○鳴子・ダンス・音楽の練習やコンサートのできる空間

③朝霞駅側の市街地に近く、人が集まりやすい立地特性を活かすことができるもの

■ にぎわい創出

広場の活用例
◇音楽、アート関連のイベント
○◇キッチンカー、移動販売車
○オープンカフェ
◇ミニコンサート、路上ライブ
◇おしゃれな軽トラ市
◇土日限定のチャレンジショップ
◇商店街から募ったイベント
◇特徴のあるイベント
グルメ、フリマ、大道芸、ミニSL、イルミネーション等

■ 市民の交流の場の創出

◇ベンチに座ってコミュニケーションが生まれる場所
○子どもからお年寄りまで集まるたまり場
○市民が自由に使える小さいイベント広場
○100人くらい集まれる広場
○小さいステージ

提案の実現に向けシンボルロードに求められる空間

ゆったりと歩ける歩行空間

・基地跡地の緑の豊かさを感じながら、ゆったりと歩ける、ユニバーサルデザインに配慮した歩行空間を設ける。

自転車道

・朝霞中央公園側の歩道と同様に、歩行空間に並行する自転車道を設ける。

大小様々なイベントを開催できる広場

・人々が集まる結節点となる場所に、イベント等を通じてにぎわいを創出する拠点となる広場を設ける。

くつろげる緑陰

・夏の強い日差しを避けたり、ゆったりと読書やおしゃべりを楽しめる緑陰を確保する。

○：あさかの公園で楽しみ隊活動報告書（平成 23 年 3 月）、市民企画講座「みんなで考えよう！楽しいシンボルロードづくり」（平成 28 年 10 月）、市民意見交換会（平成 28 年 10 月）、朝霞の森秋まつりで実施したアンケート（平成 28 年 11 月）でいただいた意見
◇：関係機関等ヒアリングでいただいた意見